

# 図書館だより

LIBRARY INFORMATION  
ゆっくり本を楽しむ

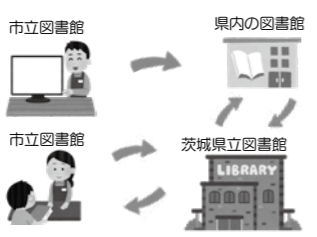
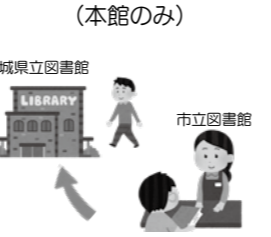
## 本との出会いを、もっと自由に、もっと便利に

今月は、読みたい本を他館から取り寄せ、当館のカウンターで受け取り・返却できるサービスをご紹介します。現在、図書館本館は空調設備等更新工事のため、一部資料を霞ヶ浦コミュニティセンター会議室へ移設し、臨時窓口にて開館しています。この機会に、ぜひ茨城県の広域サービスをご活用ください。

他館の本を市立図書館のカウンターで受け取り！

茨城県立図書館の本をネット予約で取り寄せ！

茨城県立図書館で借りる！市立図書館で返す！

相互貸借サービス	遠隔地貸出サービス ぶっくびん (本館のみ)	遠隔地利用者返却システム (本館のみ)
 <p>(受取・返却) 本館・分館カウンター ※ブックポストへの返却不可、延長不可</p> <p>①ご希望の本の所蔵がない、または休館中の書架にあり利用できない場合は、相互貸借を案内(発刊から半年経過しているものに限る)。 ②相互貸借申込書に記入。 ③各図書館の本が県立図書館に集約され、当館に搬送される。 ④資料到着の連絡を受けたら、カウンターで本を受け取る。 ⑤カウンターに返却。</p>	 <p>(受取・返却) 本館カウンターのみ ※ブックポストへの返却不可</p> <p>①茨城県立図書館ホームページから本を予約。 ②県立図書館から受取可能日のメールが届いたら、本館カウンターで貸出バッグを受け取る。 ③バッグごとカウンターに返却。 ※当館が貸出バッグを開封することはありません。</p>	 <p>(受取・返却) 本館カウンターのみ ※ブックポストへの返却不可</p> <p>①茨城県立図書館で本を借りる。 ②県立図書館の利用者カードと貸出しシートを持参して、当館カウンターに「県立図書館の資料を返却したい」と申し出る。 ③返却申込書に記入して本を返す。</p>

ホームページでは、利用案内や図書検索など図書館の情報を掲載しています▶  
☎ 図書館本館(霞ヶ浦コミュニティセンター内) ☎ 029-897-0647



### 7月 図書館カレンダー

2026年	July						
日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11	○
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30	31		

■休館日：月曜日  
(祝日の場合はその翌日)  
○お話し：図書館  
(本館臨時窓口) で開催  
7月11日 土  
午前10時30分から



飯田吉英は、明治9年(1876)に戸崎村(現かすみがうら市戸崎)に生まれました。中学卒業後は、軍隊生活を経て農学研究を志していきます。東京帝国大学農科大学入学後は、原 燾 教授に師事し、明治35年(1902)まで専門的知識を学びました。大学卒業後は、原教授の勧めで神奈川県農会を経て農商務省(現 農林水産省)へ就職しています。

明治37年(1904)には日露戦争が始まり、吉英も砲兵中尉として満州に赴きます。吉英は、軍隊の仕事以外にも、地勢や土質、水利、気候、作物の種類と栽培法、家畜の種類と飼育法、その他あらゆる面から総合的な現地調査を実施し、将兵に対し満州と日本の農業比較の講義を行いました。

この頃、吉英は戦地での欧米人と日本人の体格の違いに驚かされ、その体格差は欧米の食肉文化にあることに着目します。そして強い日本人づくりには

食肉文化の普及が必要であると考え、畜産学が進む米国へ留学することを志していくようになります。

そんな吉英は、明治39年(1906)初秋に絶好の機会を得ることとなります。吉英は、豚肉の加工技術を学ぶ海外実習練習生に選出され、研究のために渡米することとなったのです。そして翌年には横浜港からアメリカに出発し、実習先のシカゴで3年間を過ごすこととなりました。

アメリカでは、まずイリノイ州立大学で講義を受講しながら、研究を積むこととなります。吉英は、特別学生として農学部へ所属して学生生活が始まり、約半年後には大学院への入学を許可されることとなりました。明治41年(1908)には修士論文を提出、その後学科試験に合格し「マスター・オブ・サイエンス」の学位を授与されました。並々ならぬ努力の末、大学院入学からおよそ1年という短期間での修士号取得を成し遂げたのです。大学院卒業後は、シカゴの食肉加工場の実地研究を経て帰国しました。【後編へ続く】

☎ 歴史博物館 ☎ 029-896-0017



日露戦争での飯田吉英(写真中央)

## 文芸ひろば

### 投稿作品

千代田俳句同好会 手向けたる花東重ね昭和の日 蓮浮葉水玉ひとつ転がりぬ 玄閑に芍薬を活け客を待つ あぢさゐは咲き始めなり時を待つ 山小屋の星ちりばめて夏景色 咲きそめて紫陽花の葉のうすみどり 紫陽花俳句会 葉桜となりて静けさとり戻す ひたすらに洗い流せよ走り梅雨 乳のみ児に光集めて柿若葉 てっぺんは五色の風の吹き流し	出島短歌会 水張りし稲田に優し風吹きて波打つ面に映る家並 目の前をよぎる軽トラの明るくてあふれるほどの菜の花積めり 春たけて檸檬の花は咲きこぼる蝶飛ばざるも実りのあるや 花いかだ水面に添って流れゆく誰乗せるのかただゆつくりと	投稿作品 繰り出せど空を切りゆく拳追ひ浮かべし一瞬笑みの深さよ 先細るロケットの如く舞い上がり大空見つめる柏葉紫陽花 卒寿です八十年の我が歴史顔に出ているしわが知ってる 強く生き山藤見れば初夏の紫の色我れは好きなり 惜春に春告鳥の初音きく雨の水面を花筏ゆく 春ばらの色とりどり胸踊る 夕虹や旅の終わりは名残惜し ゴーヤ苗支柱ネットの親心 光風や波音高き六角堂	今井守 伊原淳子 大西周 加藤貞江 北原千恵子 榎原清志 久保庭悦子 島田和子 原田佳世子 藤本菅生	中島良平 飯島すみ子 矢口哲雄 石塚清 高野新一 兼西清治 中村耕二 竹村啓子
--	--	--	---	--

投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集します。7月3日(金)までに情報広報課(〒300-0192 大和田562)へお願いします。  
※応募多数の場合は掲載されない場合があります。また、【電話番号】【漢字にはふりがな】の記載をお願いします。

WEBで投稿  
できます



## 人生の先輩

### 健康の秘訣をお聞きしました

いばらきねりんスポーツ大会かすみがうら市予選会「グラウンド・ゴルフの部」で見事1位となった緒方誠之助さんにお話を伺いました。



おがた せいのおすけ  
緒方 誠之助さん  
下稻吉地区在住(86歳)

- Q 普段どのような練習をしていますか?  
坂の先に旗を立て、距離をコントロールする練習をしたりしています。ただ旗に向かって打つだけでなく、芝生の向きなど見て、頭を使ってプレーしています。
- Q 他に健康のためにしていることは?  
太極拳をしています。教室では、体を動かすだけでなく、みんなが楽しめるようお話を時間も作っています。太極拳の歴史について話したりすると、もっといろいろな話が聞きたいと好評です。何事も楽しむことが健康の秘訣です。

「人生の先輩」への掲載を募集しています。

対象▶市内在住の65歳以上の方  
応募▶情報広報課までお電話にてご連絡ください。  
右記の二次元コードからのご応募も可能です。  
掲載人数を超えた場合は抽選となり、もれた場合は翌月以降に再抽選します。 ▲詳細



☎ 情報広報課(霞ヶ浦庁舎)  
☎ 029-897-1111